

24の誇りをかけた闘い……になるはずが 第6回町民スポーツ大会



10月3日、第6回町民スポーツ大会がそよ風パーク芝生広場で開催されました。大会には24の支部体協が参加、子どもからお年寄りまで、各体協選りすぐり精鋭たちが揃いました。

チームジャンプで幕を開けた大会。小学生のイス取りゲームや綱引きで支部体協の意地と誇りをかけた、激しくも和やかな闘いが繰り広げられていきます。応援席からは、代表選手の活躍に温かい声援が送られました。



予選ラウンド大野VS郷野原の試合

第4回 山都町親善 ソフトボール大会



優勝した大野チーム

10月17日、清和グラウンド・馬見原グラウンドの2会場で行われました。この大会は、矢部・清和・蘇陽の各支部で行われたソフトボール大会の上位3チーム計9チームによる決勝大会で、いわば山都一を決める大会です。

好ゲームが次々と展開されるなか、安定した試合運びで強さを見せた大野チームが見事優勝しました。

速く、高く、遠くへ ～小学校陸上教室～



町内の小学5～6年生を対象とした陸上教室が、10月5日、矢部高校グラウンドで開催されました。

「自己ベストを目指して頑張ります！」馬見原小の藤田翔也くんの力強い選手宣誓で競技が始まり100m、200m、800mなどのトラック競技と、走り幅跳び、走り高跳び、ボール投げなどのフィールド競技で自己ベスト目指して、力を振り絞りました。

大会中、競技を通して多くの交流があったようで、走り終わった後、笑顔で声を掛け合っていました。

山下泰裕さんが帰郷 一日警察署長と保育大会での講師を務めました



10月15、16日、ロサンゼルス五輪の柔道無差別級金メダリスト、山下泰裕さん（浜町出身）が帰郷されました。

15日は、全国地域安全運動の一環で、山都警察署の一日署長を務めました。地域の防犯ボランティアを前に山下さんは「みんなで力を合わせて犯罪のない地域をつくりましょう」と犯罪防止を訴えました。その後、明光保育園の太鼓演奏を聴いた山下さんは、国道でドライバーに花を配り、防犯を呼びかけました。



2日目となる16日は、矢部中学校体育館で行われた、郡内の保育所関係者が集う上益城郡保育研究大会において、「人生の金メダルを目指して！」と題した講演を行いました。

「柔道では、人の言葉をしっかりと聞く素直な心や、常に対戦相手を尊敬する気持ちなど、人としての道を学んだ」と幼少期から金メダリストとなるまでの家族や恩師の教えについて語りました。



また、現役引退後、指導者3年目に生徒から学んだというエピソード、いろいろな人の夢の手助けをしたいとNPO法人を設立し世界各地で柔道と日本の心を伝えていること、神奈川県体育協会を取り組むいじめ撲滅運動などについて熱く話しました。

会場で、小学校時代の同級生を見つけて緊張がとけた山下さんは、終始にこやかな表情でした。「音を振り返ることが好きではない」と表彰状などはほとんど保管しないという山下さんですが、金メダリストとなつて開かれた祝勝会で、同級生からもらった表彰状だけは、今でも大事に自宅に飾ってあるそうです。